

うめきた2期開発の概要

■これまでの経緯

○H24.9.6 第1回都市再生緊急整備協議会部会を設立

構成：大阪府、大阪市、国、鉄道事業者、民間事業者、
経済団体、学識経験者

- ・みどりを中心とした土地利用の確認

○H24.12.18 第2回都市再生緊急整備協議会部会

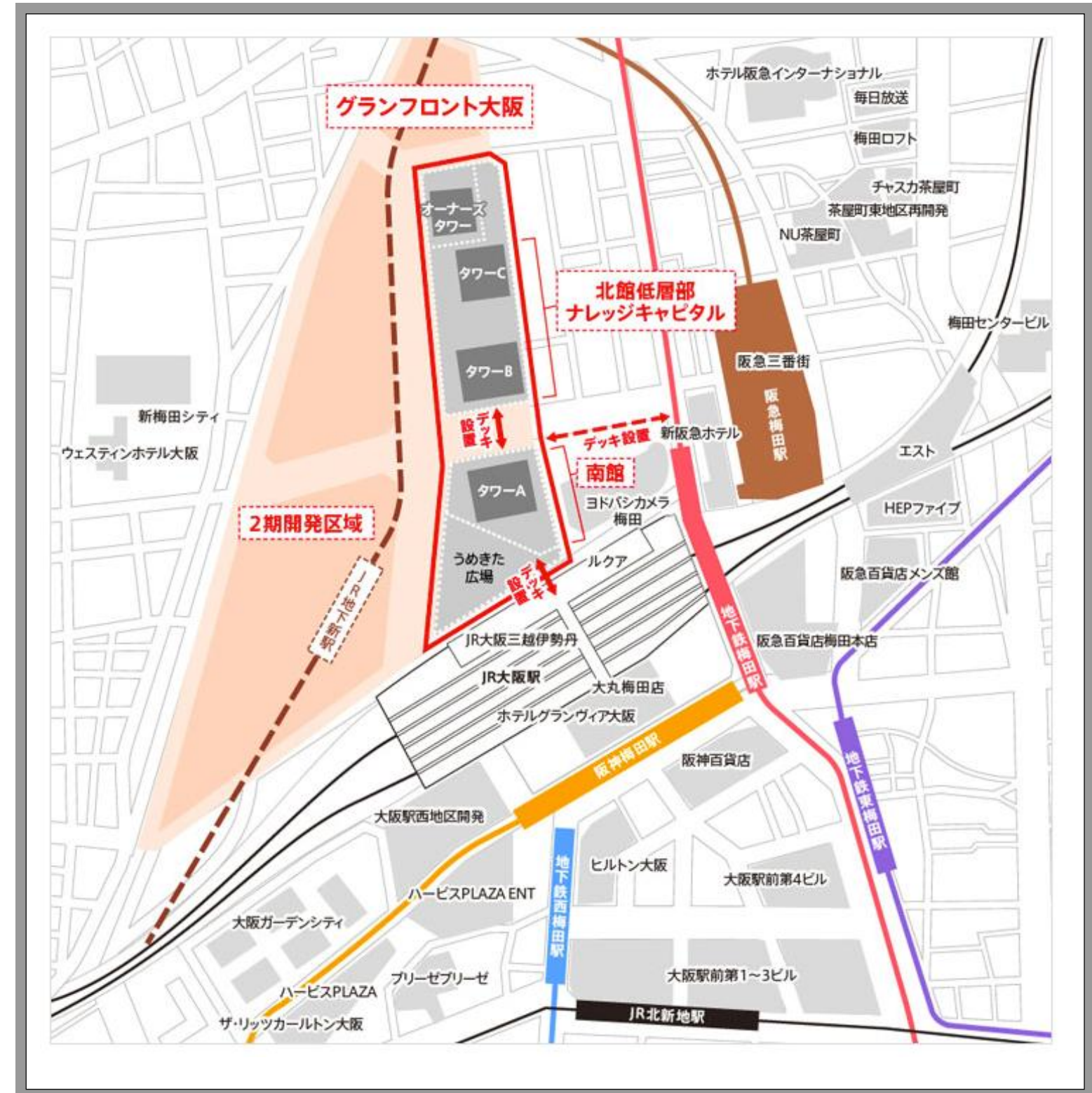
- ・構想段階から民間の事業提案を募る。
- ・BID等エリアマネジメントの制度を整える。

○H25.4.9 知事・市長 菅内閣官房長官に要望

- ・うめきたのまちづくりを国家プロジェクトとして「新しい成長戦略の柱」に位置付けていただきたい。
- ・都市機構の土地取得財源に対する無利子資金の充当率の拡大とその財源の確保
- ・土地保有会社の設立、会社に対する民都機構からの無利子資金の充当や税制優遇措置

○H25.4.19 第3回都市再生緊急整備協議会部会

- ・うめきたのまちづくりについて
- ・都市再生安全確保計画について
- ・整備計画について



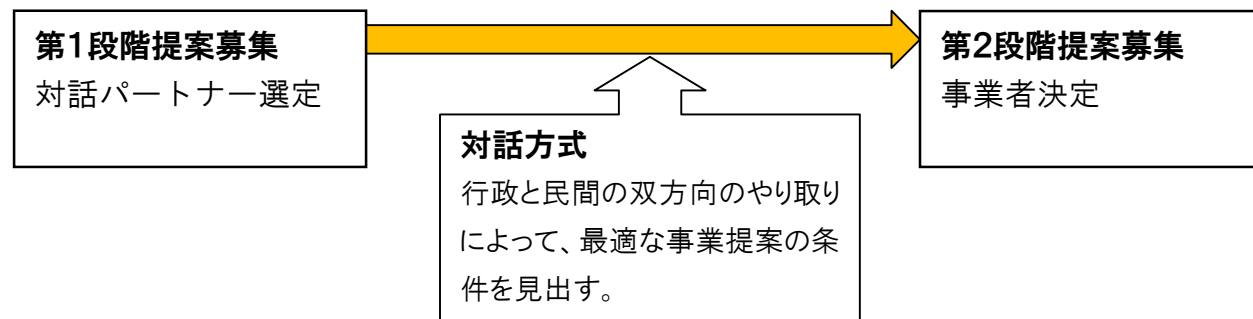
うめきた2期の民間提案募集について

1. 方針

- ◇行政が決めるのではなく、民間を主体に計画を進めるため、国内外から広く提案を募集する。
- ◇創意に富んだ、実効性のある計画を検討し、構想段階から世界より注目を集める拠点とする。

2. 公募方法

民間事業者のノウハウを多く取り入れるため、民間事業者と対話しながら2段階に公募を行う。



3. 公募内容

■条件・提案させる事項等

※詳細は、(仮称)提案募集実行委員会で検討、決定する。

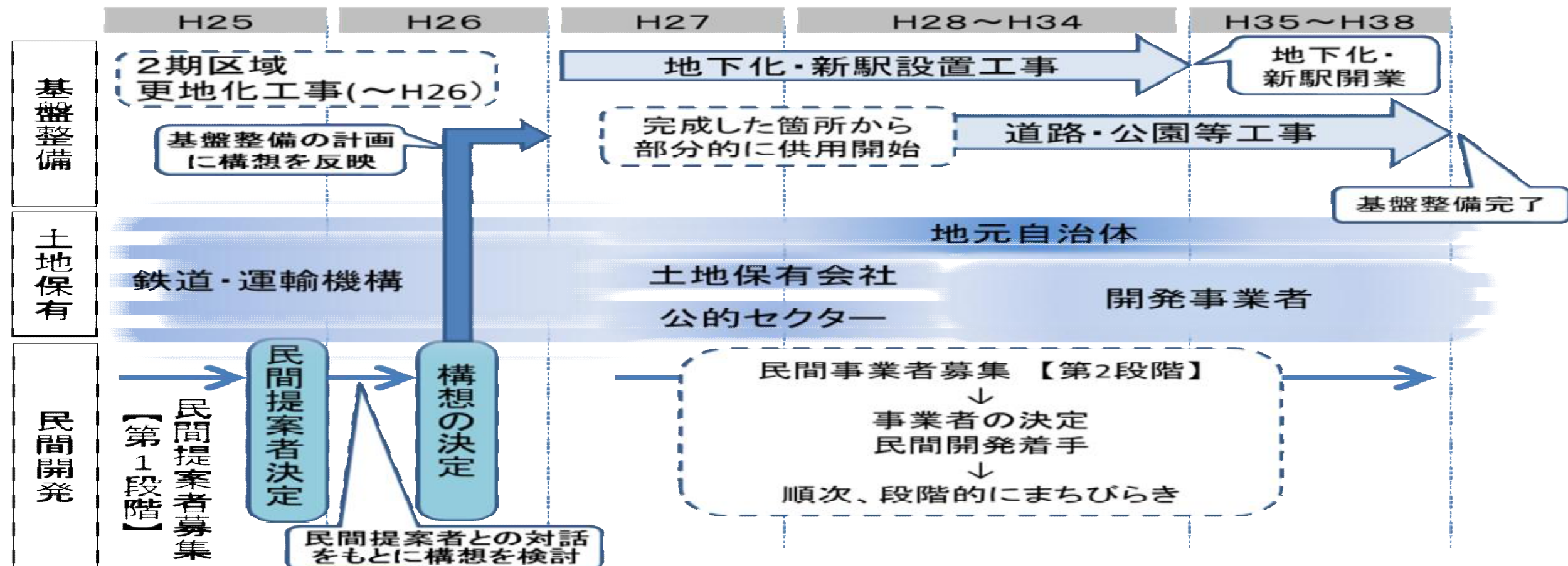
◎与条件

- 「グランドデザイン大阪」のコンセプト
 - ・大規模な「みどり」の空間を確保
 - ・「みどり」を有効に発揮させるために必要な官民連携の仕組みの構築
- 道路・鉄道地下化・新駅の計画
- 開発スケジュール

◎提案を受ける事項とその評価の視点

- 「みどり」について
 - 【評価の視点】 規模、独創性 など
 - ・活用の方法、管理手法、管理財源の確保の考え方
 - ・規模・形態・デザイン等とそれに至った考え方や根拠
 - ・東西道路の取り扱い(南北街区の一体化の考え方)
- 事業スキーム、収支の考え方
 - 【評価の視点】 事業の実現性
- 導入機能
 - 【評価の視点】 1期を補完する機能の導入 など

■全体スケジュール



※土地保有の形態については、民間提案内容によって変動します。